

週刊新潮

2023年3月2日発売

*3月3日「耳の日」直近号

特別広告企画

納得の 「補聴器」選び

QRコードからの
資料請求者データ提供付

株式会社 新潮社 広告部



「週刊新潮」は、知的で健康な老後を楽しみたい

50代～70代読者が中心。「耳の衰え」にも大きな関心が寄せられ、

「聞こえ」の悩みについての編集記事もたびたび掲載してきました。

週刊新潮

人は 受難者1000万人

耳から 衰える認知症 うつ病

リスク増大の 加齢性難聴

糖尿病よりも高リスク

113 '22.5.6.12

「転機」とするか「折り合う」か「闘う」か...

著名人が明かす 病との向き合い方

井上順 難聴で「第1の人生」が始まった

補聴器と「手画

43 '22.5.6.12

本広告企画では、ご協賛企業様の補聴器の特徴をわかりやすくお伝えし、
読者のQOL向上に欠かせないアイテムとしてご紹介します。

タイアップ実施例：
マキチ株式会社さま（2022年9月）

アイキャッチの扉と 深掘りのタイアップ記事

読みやすいコラム記事

を組み合わせた、読者
満足度の高いクオリティ

アンケートページでは、

●1社あたり約100件超の資料請求者データと

●商品やテーマに関する読者の“生の声”を

集めます。

タイアップページ

扉ページ

アンケート+ハガキ

記事ページ

本特集構成イメージ

現時点でのイメージであり、ページの増減や入れ替え等の可能性もあります。詳しくはお問い合わせください。



ご協賛
スペース
各1~2頁

本企画だけのお得な料金プラン

- ① 4色2頁タイアップ 2,900,000円 (通常価格4,550,000円)
- ② 4色1頁タイアップ+4色1P純広告 2,700,000円 (通常価格4,200,000円)
- ③ 4色1頁タイアップ 1,700,000円 (通常価格2,600,000円)
- ④ 4色2頁純広告 2,500,000円 (通常価格3,800,000円)
- ⑤ 4色1頁純広告 1,500,000円 (通常価格2,200,000円)
- ⑥ 本文1頁タイアップ 900,000円 (通常価格1,350,000円)

※①～⑥のすべてで誌面QRコードからの資料請求者データを提供いたします。

※③、⑤、⑥のプランをお選びいただいた場合、掲載位置が広告対向となる可能性があります。
あらかじめご了承ください。

《申込み締切》タイアップ：1月19日（木）、純広：2月2日（木）

【媒体プロフィール】



創刊：1956年2月（今年65周年）
出版社系ジャーナリズム
誌としては日本初

編集長：宮本太一（2017年～）

- 発売日：毎週木曜日
- 発行部数：304,179部（印刷証明付発行部数 2021年1月～12月）
- 全国に配本（比率は人口比とほぼ同じ）
- 読者属性 『ABC REPORT2019 1～6』日本ABC協会発行より

男女比 3：2、50歳以上が7割

〈おもな購読者層（上位3つ）〉

- ①サラリーマン
- ②主婦（夫）リタイア層
- ③自営業

- ▶主に50～70代の男性が購入。自宅に持ち帰り夫婦でじっくり読む雑誌。
- ▶競合誌に比べ政治、経済、事件記事、連載小説に強み。
- ▶生活に余裕があり、自分と社会の関わりに強い意識を持つ読者。→信頼のおける活字情報をもとに商品・サービスを購入。
- ▶読者の関心の高い、医療・健康、終活、資産防衛などをテーマにした特集記事も多数掲載。

週刊新潮の歴史

1956年に創刊された『週刊新潮』は非新聞社系ジャーナリズム雑誌として創刊されて以降、今日まで常にトップランナーとしての言論活動をおこなってきました。政治・事件・文化風俗などへの徹底した取材から生み出された記事は、長年多くの読者に信頼され愛されてきました。また『週刊新潮』の記事をきっかけに、世論を大きく動かすような展開となった事件も数多くあり、媒体が持つ社会的影響力の強さを物語っています。

またもうひとつの側面は、老舗文芸出版社としての強みを活かし読者に時代を代表する人気作家の文芸作品を提供してきた雑誌であることです。かつては山本周五郎や池波正太郎といった大物作家の時代小説、松本清張や山崎豊子といった綿密な取材に基づく現代文学など、良質な作品を世に送り出してきました。

読者の傾向

週刊誌と聞くと読んだらすぐに終わり、というイメージがあるかもしれませんが、弊社が行った愛読者調査（2010年実施）によると、『週刊新潮』は、「自宅でじっくりと読む」「購入してから4～5日かけて読む」「毎週購読している」「最初から最後まで記事を読む」読者が多く見られました。

お問合せ

広告部「週刊新潮」担当 TEL：03-3266-5211

大川一郎（おおかわいちろう）

okawa@shinchosha.co.jp

重松厚至（しげまつあつし）

shigem@shinchosha.co.jp

ご検討のほど、よろしくお願い致します。